

第6回メソ気象研究会の開催のお知らせ

テーマ：メソ気象と境界層

私の見間違いかも知れませんが、気象学会の大会で区分されているところの「メソ現象」の研究者と「境界層（局地風を含む）」の研究者の議論の接点は少ないように見受けられます。局地循環とメソでは扱う対象の時間的・空間的規模がほぼ同じであるのに、両者が交流できるようなテーマが扱われることは多くはないようです。これは「メソ」が主として降水や強風などの、どちらかと言うと episodic な現象を対象とするのに、境界層・局地循環の研究者は晴天静穏時を扱い、周期性や再現性のある現象だけを研究対象にしたがためではないかと思えます。

しかし大局的に見れば、「メソ」、「境界層」の両分野のさらなる発展のためには密接な交流が必要であると考えられます。現在の段階は、両分野とも研究を進めていく上で相互交流をそれほど必要としない時なのか、あるいは両方の分野に関係する新たな展開が起こる前夜なのか興味のあるところです。

そこで両分野に関する話題を集めて議論し、今後の研究の展開を占ってみてはいかがでしょうか。

コンピーナー 木村富士男
(東北大・理)

日時：1994年5月27日（金）（春の大会翌日）

13：00～17：00

場所：未定（春の大会時に掲示します）

テーマ：「メソ気象と境界層」

座長 吉崎正憲（気象研）

1. 新田 勅（東大・気候） 13：00～13：25
熱帯域対流活動の日変化
 2. 加藤内蔵進（名大・水圏） 13：25～13：50
中国大陸上の日変化する降水雲出現特性と大気・地面条件
 3. 上野健一（筑波大） 13：50～14：15
ヒマラヤの降水システムと日変化
 4. 桑形恒男（東北農試） 14：15～14：40
局地循環による熱と水蒸気の輸送
- 休息 14：40～15：00

座長 木村富士男（東北大・理）

5. 藤部文昭（気象研） 15：00～15：25
擾乱時の局地風系：関東平野のメソ前線と冷気層
 6. 上田 博（北大・理） 15：25～15：50
積乱雲からの境界層へのインパクト（ガスト）
—TOGA COARE レーダー観測データを
中心として—
 7. 藤谷徳之助（気象研） 15：50～16：15
熱帯海洋上の大気境界層の構造とメソスケールの擾乱
- 総合討論 16：15～17：00